

研修ガイド

# 防災ワークショップ・校地（地震）編

50分

地震が発生した場合に起こり得る校地内の危険とそれに対する事前対策、指導を考える

## 1 ねらい

- ① 地震が発生した場合に起こり得る校地内の危険とそれに対する事前対策、指導について考察することができるようにする。
- ② 防災ワークショップを通して、全教職員が参加し、防災意識、防災対応能力の向上につなげることができるようにする。

## 2 流れ

- ① 想定した状況、校地平面図の確認
- ② 「考えられる危険」の書き出し、発表、話し合い
- ③ 「対策、指導」の書き出し、発表、話し合い
- ④ 付箋のグループ化、まとめ
- ⑤ 全体シェアリング

## 3 準備物

- ・研修会進行資料……ファシリテーター進行表、進行スライド、グループ進行表、ワークシート、校地平面図……学校の教室配置図等を拡大した図、模造紙、付箋（2色）フェルトペン ほか
- ・参加者……筆記用具

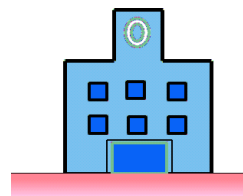
## 4 準備のポイント

### ① 校地平面図

○各学校の「教育計画」や「学校要覧」等にある「教室配置図」「校舎配置図」等を活用します。ポスター印刷やコピー機等でA1サイズ程度に拡大すると、付箋を貼りやすく、まとめやすくなります。

### ② 付箋

○付箋を使う活動が2つあります。付箋は2色準備し、色分けをします。



## 5 活動内容のポイント

- ① 「地震編」ですが、同じような流れで台風・雪など他の自然災害の想定に置き換えても実施することができます。
- ② 本ワークショップ後に、自然災害発生時の学校における対応や取るべき行動について話し合うこともできます。（「はじめよう『防災ワークショップ』」、3「防災ワークショップ」次のステップを参照）
- ③ 震災の経験を思い出して心身に不調を来す場合もありますので、参加者の様子などを観察し、配慮をお願いします。児童生徒等に指導する場合も同様をお願いします。

## 6 児童生徒等への指導・家庭、地域等との連携について

### ① 児童生徒等への指導

指導例	活動内容
学校で地震が起きたら	○流れ③「対策、指導」を「対策、行動」として、同じ流れで児童生徒等用に工夫して指導します。 ・校地平面図を用いて、教室、特別教室、校庭など、よく行く教室や遊ぶ場所等で地震が発生した場合の「考えられる危険」とそれに対する「対策、行動」について考える。

### ② 家庭、地域等との連携

連携例	活動内容
学校で地震が起きたら	○同じ防災ワークショップを保護者や地域住民と行います。 ・保護者会やPTAの会議で本ワークショップを行い、「考えられる危険」「対策、指導」の共通理解をする。 ・自治会や地域住民等と本ワークショップを行い、災害時における避難所開設や運営等に役立てる。